

2009年4月3日

IntelとGEが遠隔医療サービス分野で提携 2億5000万ドルを投資

米Intelと米General Electric（GE）は、遠隔医療サービス分野で提携したことを米国時間2009年4月2日に発表した。両社は今後5年間で2億5000万ドル以上の投資を行い、急成長が見込まれる同分野の研究と製品開発で協力する。

GEのヘルスケア事業部門は、Intelの在宅患者向け医療管理システム「Health Guide」を米国で販売する。同システムは、2008年7月に米国食品医薬品局（FDA）の承認を受けた製品。慢性疾患を持つ在宅患者の健康を管理できるように、医療関係者向けに提供されている。

両社はまた、睡眠時無呼吸、心疾患、糖尿病、医薬品コンプライアンスなど、家庭における健康管理や、高齢者の1人暮らし支援に関する共同研究と技術開発に取り組む。

Intelによると、高齢化が進むに伴い慢性疾患を持つ人が増えており、在宅医療のニーズが増加している。このため、遠隔医療サービス市場は2009年の30億ドル規模から、2012年には77億ドル規模へと急成長する見通しだという。

以上